

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第31週に、310件の報告があり前週の約1.8倍と増加しています。全国の新規感染者数は急速な増加が続き、過去最大の規模となっています。更に、感染性が高いとされるデルタ株への置き換わりが進み、8月初め時点で陽性例に占めるデルタ株の割合は、関東地方で90%、関西地方で60%と推測され、本市においても徐々に増え始めています。今後、デルタ株の影響やお盆休みの帰省などで、感染が急拡大する可能性があります。基本的な感染防止対策に加えて、外出の半減、市外への往来自粛(通勤、通学等を除く)などの対策を徹底しましょう。また、ワクチン接種を完了していても感染する場合がありますので、感染防止対策を継続することが大切です。

【参考】感染状況を踏まえた皆様への改めてのお願いと重点区域の拡大【R3.8.5会見】(広島県)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/20210805.html>

【参考】新型コロナワクチン接種後に新型コロナウイルス感染症と診断された症例に関する積極的疫学調査(第一報)(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2488-idsc/iasr-news/10534-498p01.html>

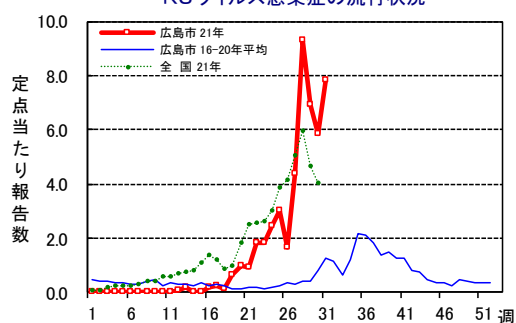
2 RSウイルス感染症

定点当たり7.83人の報告があり、多い状況が続いています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は、重症化しやすいといわれていますので、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避け、おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒、手洗いに努めましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs.qa.html>

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	-	-	0.12		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.18	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.51		眼科	RSウイルス感染症	188	7.83	1.25	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	1.51		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	42	1.75	3.76		眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	0.65	
	水痘	4	0.17	0.22		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	1	0.04	2.74		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.26		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	
	突発性発しん	7	0.29	0.41		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.88		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	54	70歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	5	90歳代
5	梅毒	2	36	20歳代、30歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第27週	-	9	6	59	1	1	-	7	6	4	105	-	-	-	-	-	-	-	-
		第28週	-	6	13	58	-	2	-	5	2	1	223	-	-	-	-	-	-	-	-
		第29週	-	1	7	39	-	1	-	6	5	7	167	-	4	-	-	-	-	-	-
		第30週	-	2	3	52	1	2	-	12	5	-	140	-	1	-	-	-	-	-	-
		第31週	-	6	12	42	4	1	-	7	2	-	188	-	1	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第27週	-	0.38	0.25	2.46	0.04	0.04	-	0.29	0.25	0.17	4.38	-	-	-	-	-	-	-	-
		第28週	-	0.25	0.54	2.42	-	0.08	-	0.21	0.08	0.04	9.29	-	-	-	-	-	-	-	-
		第29週	-	0.04	0.29	1.63	-	0.04	-	0.25	0.21	0.29	6.96	-	0.50	-	-	-	-	-	-
		第30週	-	0.08	0.13	2.17	0.04	0.08	-	0.50	0.21	-	5.83	-	0.13	-	-	-	-	-	-
		第31週	-	0.25	0.50	1.75	0.17	0.04	-	0.29	0.08	-	7.83	-	0.13	-	-	-	-	-	-
	全国	第29週	-	0.20	0.43	2.07	0.07	0.15	0.01	0.34	0.29	0.07	4.64	0.01	0.15	0.02	0.01	0.03	-	0.01	-
		第30週	-	0.21	0.44	2.42	0.10	0.18	0.01	0.37	0.28	0.07	4.03	0.01	0.22	0.02	0.01	0.02	-	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)						
診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体	
感染性胃腸炎	嘔吐 腹痛 腸重積 鼻炎	0	2021/06/14	糞便	アデノウイルス2型	
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂 瞼結膜の発赤	38	2021/02/26	結膜擦過物	アデノウイルス53型	
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢 腹痛 腸重積	1	2021/02/24	糞便	アデノウイルス31型	
その他の消化器疾患	血便 嘔吐	0	2021/06/15	糞便	アデノウイルス2型	
その他の疾患	発熱(38.5℃) 紅斑	0	2021/06/24	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型	

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第31週(8月2日～8月8日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
16	34	75	51	58	47	24	3	2	-	310

【累計報告数(8月8日現在)】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
305	589	1,924	1,234	1,280	1,104	746	618	474	67	8,341

「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ
「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp